



## 地震・災害に強い水道をめざして

### 主な取組

#### ●「あんしん水道ライン」の整備

震災等の大規模災害時にも、最低限の日常生活や社会経済活動の維持に必要な水量を供給できるよう、主要な系統を「あんしん水道ライン」と定め、段階的に施設の更新・耐震化に取り組んでいます。

#### ●系統連絡管等の整備

事故時や災害時のバックアップ能力を強化するため、系統連絡管の整備や送水管路の2重化、ループ管の整備などを行っています。

系統連絡管等の大容量送水管は、非常時に備えた貯水機能を有しており、災害時には応急給水拠点としての活用も可能です。

### 震災対応管路の設定

「あんしん水道ライン」上の送水管路のうち、震災においても各市町村にある少なくとも1箇所の受水分岐に送水するための管路を「震災対応管路」として設定し、同管路の更新・耐震化と同管路上の浄水池・ポンプ場の耐震化を優先的に進めます。



※大阪広域水道企業団将来ビジョンに基づく。

### その他の取組

#### 災害用備蓄水

持ち運びに便利なアルミボトル内の備蓄水（内容量 490mL）を府内に100万本配備



#### 災害時支援協力員（水道あしすと）

拠点給水施設での応急給水の補助や施設の被害情報の収集を行うボランティア団体



#### 拠点給水設備（あんしん給水栓）

災害時に市町村水道の給水活動を支援するための設備



#### 給水車

大規模地震などの災害発生時の応急給水活動に使用する給水車



### 「大阪あんしん水道計画（大阪府水道地震対策基本方策）」

阪神・淡路大震災で被災した方々の声から、震災による断水が4週間を超えると、肉体的・精神的な限界を越えていたことが分かりました。これらの教訓を活かし、平成8年9月に旧大阪府水道部が策定した「大阪あんしん水道計画」では、水道の復旧や応急給水について目標を定めています。

水道の復旧期間は、震災後おおむね4週間を目標とします。

企業団の市町村への水道用水供給の復旧期間は、震災後おおむね1週間を目標とします。

#### 応急給水量・運搬距離の目標

期間	初めの3日間	1週目後半（4～7日目）	2週目（8～14日目）	3～4週目（15～28日目）
応急給水量	1日1人当り 3L	3～20L	20～100L	100～250L
運搬距離	避難所	避難所 給水拠点	近くの広場など（250m程度）	もよりの交差点など～前面道路など（100m～10m程度）